

令和２年度国保すさみ病院事業改革プラン評価結果及び意見について

令和３年３月３日に行われた会議にて、事務局から以下の内容が報告されました。

平成２８年度に策定した国保すさみ病院改革プランは、平成２８年度から令和２年度までの５年間を計画期間として策定したものです。会議では改革プランの進捗状況を確認する場となっており、令和元年度の取組状況を確認する会議となります。

令和元年度は医業収益において、計画値を８８，６３７千円下回っています。未達成の主な要因として、入院収益では８月から２階療養病棟を休床したなど入院患者の減、外来収益でも外来患者の減により未達成となっております。

費用面では、２階病床が休床になったため職員給与費や材料費が減少したことにより計画値を達成しております。

収益的収支に係る数値目標では、経常費用については職員給与費や材料費など計画値を達成しましたが、計上収益では、医業収益の減少が要因となり、ほぼ未達成のため、経常損益では計画値を２２，２７４千円下回りました。

経費削減・抑制対策では、補助金等を活用して耐用年数、使用頻度等により優先順位をつけて計画的な医療機器の更新等をはかり、国保すさみ病院が移転するまでの間は、老朽化した建物、設備については経費を抑えながら修繕等で対応したいと考えます。

収入増加・確保対策では、常勤医師の確保に努め、リンパ浮腫治療をホームページに掲載するなど町外からの患者受入など患者の増加を今後検討する必要があると考えます。

会議での主な質疑・意見は次のとおりです。

○職員の福利厚生で２階に仮眠室を設置したのは

→２年度から２交代制を採用し、仮眠室を設置しました。

○職員の休憩時間について

→現状の施設では福利厚生設備（食堂、休憩場所等）が無い場合、新病院に移転後（福利厚生設備が整備される）、休憩時間の対応について変えてく必要がある。

移転までは現状の休憩対応でやむを得ないが、夜間、土日については周辺の状況を確認し、休憩時間の対応を職員間で検討する必要がある。